

食を通じて 豊かで良質な サービスを提供 音声物流システムで 物流業務改革を実現

採用事例

株式会社さんれいフーズ 物流業務の標準化、作業生産性と品質の向上で 商物を分離し物流業務を刷新 庫内業務の“誰でも化”を実現

背景

株式会社さんれいフーズは、中国地域を中心に3支店と3営業所を展開する総合業務用食品卸。山陰両県で外食・中食・給食等、6,000店に約15,000アイテムを供給するほか、山陰の特産品を加工した冷凍調理食品や水産加工品を全国に販売しています。

課題

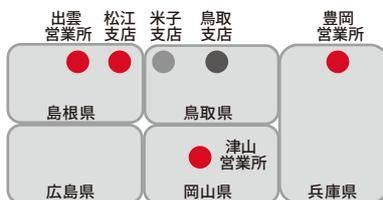
物流拠点ではこれまで営業担当自らが庫内業務を行っていましたが、商物分離を進めるにあたり、庫内業務を担うパートやアルバイトの業務標準化に取り組みました。

- 即戦力として誰でもミス無く作業できる仕組みの構築
- 作業精度の向上による在庫差異の削減

解決策

1次ピッキング、2次仕分け、棚卸の庫内業務にハネウェルボイス音声物流システムを導入。ガイドンスルールに則った音声作業ガイドによって、誰でも素早く習得でき、精度の高いピッキングができる業務標準化を実現しました。

また、設備の固定化を改めることで柔軟な運用を実現しました。さんれいフーズでは、この成果を社内で展開し、全社の業務標準化とこれに伴う効率化をすすめています。



事例概要

製品・ソリューション

ハネウェルボイス

- 企業名：株式会社さんれいフーズ
- 本社：鳥取県米子市
- 業種：総合業務用食品卸
- URL：www.sanrei-foods.co.jp

導入効果

- ピッキングミス防止による在庫精度の向上
- 業務標準化を実現
- 庫内業務の“誰でも化”を実現、標準化の仕組みの全社展開を推進

採用理由

- 初心者でも操作方法をいち早く習得でき、業務を標準化できるメリットを評価

